

## 2024 年度ルール注意事項

### <2024 年度ルール改正・追記>

#### ・電子機器の使用

試合中携帯電話・スマートウォッチは電源が切られた状態

でも試合中の着用は認められない。

電動ファン付きジャケット・ベストの着用および電動ファンについては、  
各エンドチェンジ・セットブレイクの時間内に限り使用することができる。

#### ・タイブレイク・ゲーム

タイブレイク・ゲーム第 1 ポイントのサーバーとなるべきプレーヤー/チーム  
は、次のセット第 1 ゲームのレシーバーとなる。

#### ・エンドとサービスの選択

何かの事情で（雨など）ウォームアップが中断され、コートを離れた時、トス  
の選択をやり直すことができる。トスの結果は変わらない。

#### ・スコアの誤り

試合中のスコアの誤りが試合終了後にわかった場合は、その誤りは訂正でき  
ない。試合終了後、勝者が試合結果のスコア間違えて報告した場合は、両選手  
の同意が得られれば試合結果を訂正することができる。試合中に間違いを  
訂正した場合、同じ内容について再度訂正することはできない。

・ラッキールーザーのサインイン

天候等により、ラッキールーザーのサインイン締め切り時刻よりも早い

時点で新たな試合開始時間が発表された場合、サインイン締め切り時刻も

延長される。但し、サインインが締め切られた後に、試合開始が変更されても

延長はできない。

・ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立。

ネットに触れたサービスを、1人が「フォールト」、パートナーは「レット

(グッド)」とコールした場合は「サービスのレット」となる。

パートナー同士での判定の食い違いは失点する。

★・誤ったコールを訂正した場合（クレーコートを除く）

ミスジャッジしたとしても「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入っ

た場合、1回目はポイントレット。2回目以降は故意に妨害したとして失点。

ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・

エースまたは返球がアウトした場合は相手への妨害が起こってないので、1回

目であってもミスジャッジしたプレーヤー・チームの失点となる。

ダブルスのペアの判定が食い違ったとしても「グッド」に訂正した場合

同じ扱いとする。

★特に重要なルール改正点になります。

## <試合で良く起こる事例>

### ・コーチング

チーム対抗戦以外の試合では、コーチングはいっさい許されない。

雨の中断はコーチング OK。ヒートルールでの休憩中はできない。

### ・ヒンダランス（故意の妨害）

自分が打つ前に、相手選手が声を出してプレーを妨害された。

その場合失点になる場合があるが、そのケースでラリーをしてしまったら

妨害とはみなさない。相手にボールが向かっている時に声を出さない。

### ・相手のジャッジに不満

ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」または

「フォールト」である。判定が良くわからなかった場合は「グッド」である。

### ・落とし物

インプレー中、ラケット以外の持ち物を相手コート以外の地面に落とした

場合、レットをコールしてプレーを停止し、それが1回目であったらポイント

のやり直しになる。2回目以降はそのつど失点になる。

レットのコールは、落とし物をしたプレーヤー・チームがコールできない。

### ・他のコートからボールが転がってきたら？

両プレーヤー・チームが「レット」をコールできる。そのポイントをやり直す。

ただし、既に打たれたボールがアウトまたはネットの場合は、そのポイントは成立する。

- ・ノットレディ

サーバーがレシーバーの構えを確認せず、レシーバーの準備ができていなかった場合、そのサービスのやり直しになる。

- ・ネット前に転がしてあったボールが風で動いたら？

両プレーヤー・チームが「レット」をコールできる。そのポイントをやり直す。

※同じ事が起こらないように、風の強い日はボールを処理しましょう。

- ・ファーストサーブフォールのボールを拾いに行って時間がかかった。

その場合でもセカンドサーブになります。サーバーのリズムに合わせて

プレーしましょう。例外として、ファーストサーブになる場合もあります。

- ・スコアがわからなくなったら。

双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、わからないポイントは

無かったものとしてプレー再開する。R Uを呼んでください。

- ・サーバーの間違い。

直ちに正しいサーバーに代わる。パートナーの打たれたフォールトは取り消

さない。対戦相手と間違えて交代した場合、フォールトは取り消される。

既にゲームが終わって気が付いた場合、入れ替わったままの順番で続ける。

- ・レシーバーの隊形が入れ替わっていたら？

そのゲームだけは間違っただままプレーを続け、次にレシーブする順番のゲームで本来の隊形にもどす。(タイブレーク中も同じ)

- ・エンドを間違えた。

すぐに正しいエンドに直す。

その場合、打たれたサーブのフォールトは取り消される。

- ・ラウンドロビン形式の試合でリタイアした。

完了試合にならない。リタイアの選手は、同じ日に同じ試合には出場できない。

翌日以降の試合には出場できる。

- ・判定とコール

ネット・スルー・タッチ・ノットアップ・ファウルショットは、両プレーヤーチームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。

- ・次の場合は、レフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。

1.試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時。

(飲み物の補充、忘れ物を取りに行きたいなどでコートを離れる事はできない)

2.相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある時。

3.プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時。

ルールのご質問がありましたら、下記アドレスにメールにてご連絡ください。

[shinpan@joshiren-chiba.org](mailto:shinpan@joshiren-chiba.org)

\* J T A ホームページ ルールQ & A もご覧ください。

<https://jta-tennis.or.jp/registration/tabid/737/Default.aspx>

※選手の皆様へ

ポイント間は 25 秒です。レシーバーには 25 秒はありません。

サーバーのリズムに合わせてプレーを行いましょう。

フットフォールトに気をつけましょう。